

資料の保存とデジタルアーカイブについて

— 現在の取り組み、今後の課題 —

情報保存研究会（JHK）と社団法人日本図書館協会は、これまで7回に渡り、資料保存というテーマでシンポジウムを開催してまいりました。

8回目を迎えた今回のシンポジウムは、「資料の保存とデジタルアーカイブ—現在の取り組み、今後の課題—」というテーマで開催いたします。最初に特別講演として3名の講師の方々より、取り組んでいる課題についてお話をさせていただく予定です。

また、ご好評をいただいている資料保存実用講座を今回もシンポジウムの後半に設けます。この実用講座では、資料保存にかかわるさまざまなツールやシステムなどについて、出展企業から総合的にプレゼンテーションをさせていただきます。

このほか、企業展示もあわせて開催します。シンポジウムに参加される方々が資料保存にかかわる専門業者と直に情報交換できる場を用意いたしました。

日時：2014年10月20日（月）9：50～18：00（受付9：20）

参加費：無料（定員300名）申込締切：10月14日（火）

会場：東京国立博物館 平成館・大講堂&ラウンジ
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
JR：上野駅公園口・鶯谷駅南口から徒歩10分
東京メトロ：銀座線上野駅・日比谷線上野駅・千代田線根津駅から徒歩15分
京成電鉄：京成上野駅から徒歩15分

後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、国立大学図書館協会、私立大学図書館協会、文化財保存修復学会、ARMA東京支部、企業史料協議会、記録管理学会、全国大学史資料協議会、日本アーカイブズ学会、専門図書館協議会、アート・ドキュメンテーション学会（以上予定）

プログラム

9:20～9:50	受付
9:50～9:55	JHKあいさつ
9:55～10:40	特別講演「東京都立図書館資料防災マニュアルについて」 東京都立中央図書館資料保全専門員 眞野節雄
10:40～10:50	小休憩
10:50～11:35	特別講演「災害を前提とした文化財保護対策の構築—日本学術会議提言によせて」 熊本大学文学部教授 木下尚子
11:35～13:15	企業展示（昼休み）
13:15～14:00	特別講演「文化財未指定の古文書修復の必要性—具体的対応と問題点について—」 涛声学舎 舎主（元敦賀短期大学教授）多仁照廣
14:00～14:10	小休憩
14:10～15:30	資料保存実用講座（その1）
15:30～16:10	企業展示
16:10～17:30	資料保存実用講座（その2）
17:30～17:35	日本図書館協会あいさつ
17:35～18:00	企業展示

（資料保存実用講座と企業展示については、裏面をご覧ください。）



お申し込み方法のご案内

①お名前 ②ご所属 ③E-mail アドレスまたは電話番号をご記入の上、情報保存研究会・シンポジウム担当まで E-mail (sympo2014@e-jhk.com) または FAX (03-3813-5909) でお申し込み下さい。
ご提供いただいた個人情報は、シンポジウムの実施・運営にのみ使用いたします。

入場のご案内

当日は、東京国立博物館の西門からご入場ください

昼食のご案内

平成館にはレストランがありませんので、上野公園内やJRの上野駅・鶯谷駅周辺のレストランをご利用ください。
なお、お弁当をご持参いただいた場合は、平成館の小講堂でお召し上がりいただくことができます。